

令和3年度進行管理・評価シート
美濃市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月29日認定）

□進捗評価シート(様式1)

	ページ数
①組織体制(様式1-1)	
1 歴史まちづくり推進委員会による計画の 進行管理と連絡調整	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画、屋外広告物条例に基づく取り組み	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 伝統的建造物群保存地区保存修理事業	3
2 歴史的風致形成建造物保存活用事業	4
3 景観に配慮した整備事業	5
4 小倉山城跡・城下町調査研究事業	6
5 美濃和紙の里環境整備事業	7
6 本美濃紙保存・活用事業	8
7 美濃手すき和紙推進事業	9
8 美濃和紙の里会館活用事業	10
9 祭礼用具等整備事業	11
10 地域の祭礼等伝承事業	12
11 ふるさと学習普及推進事業	13
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査、指定について	14
2 美濃市文化財保存活用地域計画の作成 について	15
3 文化財の修理(整備を含む)について	16
4 文化財の防災について	17
5 文化財に関する普及・啓発の取組について	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 本美濃紙、若手職人研さん 保存会が 手すき研修会	19
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 長良川鵜飼の鵜舟造船に係る見学会の開催	20
2 ミノマチヤマーケットの開催	21

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	22
-------------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
歴史まちづくり推進委員会による計画の進行管理と連絡調整		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 計画の実施にあたり、全庁的組織の歴史まちづくり推進委員会を設置し、計画の進行管理や連絡調整などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

副市長を長、部課長を委員とする庁内横断的組織の「美濃市歴史まちづくり推進委員会」を設置し、事業担当課が行う内容を全庁的な視点で確認し、相互調整を行った。
また、推進委員会の下部組織として「事業委員会」を設け、事業内容の具体的な調整や報告等は実務者レベルで話し合ったほか、各事業の進行状況等を相互に把握できるよう、事業計画表を作成した。

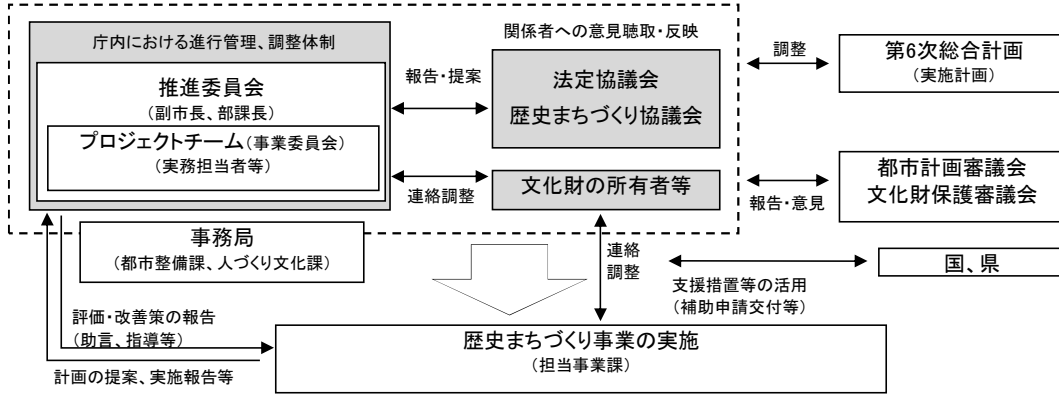
進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○歴史まちづくりの推進体制



○歴史まちづくり協議会(法定協議会)
・第18回歴史まちづくり協議会
(令和4年2月・書面による開催)
R3年度進行管理・評価シートについて 等

○歴史まちづくり推進委員会(庁内の横断的組織)
・第18回推進委員会(令和3年10月29日・防災中央CC)
令和4年度事業計画について 等
・第19回推進委員会(令和3年12月27日・防災中央CC)
令和3年度進行管理・評価シートについて 等

○歴史まちづくり事業委員会(実務者レベルの会議)
・第31回事業委員会(令和3年8月31日・防災中央CC)
令和3年度事業進捗状況について
令和4年度以降事業計画について 等
・第32回事業委員会(令和3年12月23日・防災中央CC)
令和3年度進行管理・評価シートについて 等



第19回歴史まちづくり推進委員会

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		現在の状況		
項目	評価対象年度	令和3年度		
景観計画、屋外広告物条例に基づく取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
計画に記載している内容	美濃市全域を景観計画区域に定め、大規模建築物等に対してマンセル値による色彩制限を行い、周辺の町並みや自然環境と調和するよう規制誘導を行っている。また、美濃市屋外広告物条例に基づき、禁止地域、許可地域、禁止物件や広告物の面積等の設置基準を設け規制を行っている。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
令和3年度の景観計画に基づく届け出は1件(同意1件)、屋外広告物条例に基づく許可申請は125件(許可125件)であった。これらの規制誘導により、歴史的風致を維持することができている。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない				
状況を示す写真や資料等				
届出対象行為	<ul style="list-style-type: none"> ●延べ床面積 500㎡以上の大規模建築物、工作物等 ●開発行為として開発区域 1,000㎡以上の開発 			
行為の制限	使用する色相	明 度	彩 度	
	R (赤系)、YR (黄赤系)、Y (黄系) その他	—	彩度 6 以下 — 彩度 2 以下	
区分	種類	許可地域		禁止地域
		道路及び鉄道で市長が指定する区域 用途地域内	用途地域外	
案内用 広告物 道標等	野立広告物	○表示面積 1面20㎡以下 合計40㎡以下 ○高さ ・広告者:1.5m以下 ・その他:1.0m以下	○表示面積 1面4㎡以下 合計8㎡以下 集合看板 1面20㎡以下 合計40㎡以下 ○高さ5m以下	○表示面積 1面20㎡以下 合計40㎡以下 ○高さ ・広告者:1.5m以下 ・その他:1.0m以下
	屋上広告物	○個数:1の建築物につき1個(堅固な建築物に掲示する場合は個数制限なし) ○表示面積:20㎡以下(堅固な建築物に掲示する場合は面積制限なし) ○高さ:地表から広告物掲出箇所までの高さの2/3以下		○表示面積 1面2㎡以下 合計4㎡以下 集合看板 1面10㎡以下 合計20㎡以下 ○高さ 野立広告物のみ 5m以下 ○その他の基準 広告物の種類に応じて、左欄の基準を満たすこと
	壁面広告物	○表示面積(次の2つとも満たすこと) ・1個30㎡以下(堅固な建築物に掲示する場合は面積制限なし) ・同一壁面に掲出される表示面積の合計がその同一壁面面積の1/2以下		
	突出口広告物	○個数:1壁面につき1個(堅固な建築物に掲示する場合は個数制限なし) ○表示面積:1個20㎡以下(堅固な建築物に掲示する場合は面積制限なし) ○下端の高さ ・歩道上にあっては地表から2.5m以上 ・車道上にあっては地表から4.7m以上 ○道路上への出幅:m以下		
許可申請	○許可申請が必要。ただし、道標等は、2㎡以下のものについては、許可申請不要			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
伝統的建造物群保存地区保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物等については必要な保存修理・復旧事業を実施するとともに、その他の建造物等については修景事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

美濃市美濃町伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物とそれ以外の建造物で、所有者が実施する7件の修理修景事業に対し、費用の一部を助成することで、歴史的風致の向上に寄与することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



鈴木家主屋(修理前)



鈴木家主屋(修理後)



大石家屋根塀附属屋
(修理前)



大石家屋根塀附属屋
(修理後)



大石家主屋(修理前)



大石家主屋(修理後)

凡例
 : 修理箇所

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度								
項目		現在の状況									
歴史的風致形成建造物保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手									
事業期間	令和3年度～令和12年度										
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)										
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物の候補とした建造物の指定を検討し、指定された建造物の修理等に補助を行う。										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で											
計画書に記載された歴史的風致形成建造物の候補について、指定を検討した。また、歴史的風致形成建造物の修理修景に対して補助を行うために「美濃市景観形成修理修景補助金交付制度」の策定について、検討を進めた。											
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)										
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない											
状況を示す写真や資料等											
○位置図(城下町上有知地区)											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助対象物件</th> <th>補助対象経費</th> <th>補助率</th> <th>補助限度額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史的風致形成建造物</td> <td>増築、改築、修理、修繕等(構造耐力上主要な部分にかかる工事を含む)に要する費用</td> <td>検討中</td> <td>検討中</td> </tr> </tbody> </table>		補助対象物件	補助対象経費	補助率	補助限度額(千円)	歴史的風致形成建造物	増築、改築、修理、修繕等(構造耐力上主要な部分にかかる工事を含む)に要する費用	検討中	検討中
補助対象物件	補助対象経費	補助率	補助限度額(千円)								
歴史的風致形成建造物	増築、改築、修理、修繕等(構造耐力上主要な部分にかかる工事を含む)に要する費用	検討中	検討中								
美濃市景観形成修理修景補助金の補助率等											
○歴史的風致形成建造物指定建造物		○歴史的風致形成建造物指定候補建造物									
 <p>旧名鉄美濃町線美濃駅</p>		 <p>長良川鉄道美濃市駅</p>									
 <p>旧須田万右衛門邸</p>											

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
景観に配慮した整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 城下町上り有知地区内において、景観に配慮した整備を実施する。旧牧谷街道、美濃橋及び川湊公園周辺では、歴史的景観の保全、建造物の修景、小公園整備、道路美装化、案内板設置等の整備を、美濃市駅前周辺においては、小公園整備、歴史的風致形成建造物の修理等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

《旧牧谷街道、美濃橋及び川湊公園周辺》

旧牧谷街道沿いの建造物について、景観に配慮した修理修景を行う際に補助を行うべく、美濃市景観形成修理修景補助金交付制度の策定について、検討を進めた。また、港町にて小公園を整備し、地元住民、ならびに観光客の憩いの場として整備した(川湊公園憩いの場)。

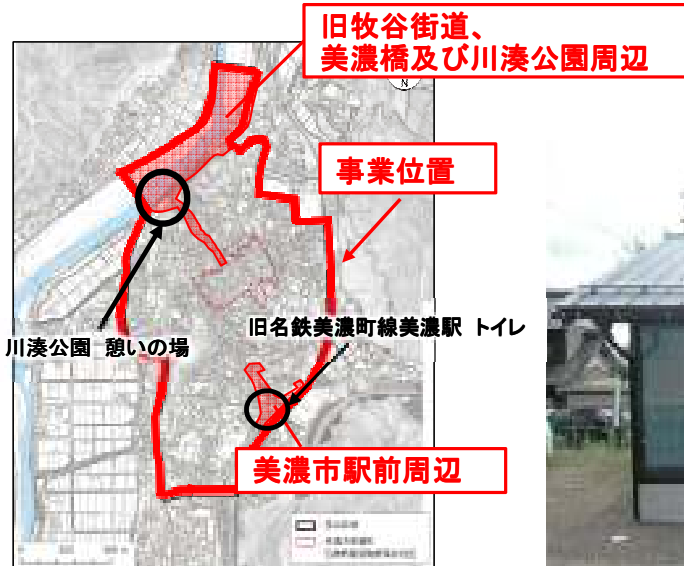
《美濃市駅前周辺》

美濃市駅前周辺について、旧名鉄美濃町線美濃駅前広場にトイレの新設を行った(6月30日完了)。旧名鉄美濃駅の建造物の耐震工事の実施、長良川鉄道美濃市駅周辺の整備についてを検討した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧名鉄美濃町線美濃駅前広場トイレ新設



川湊公園 憩いの場

補助対象物件	補助対象経費	補助率	補助限度額(千円)
歴史的風致形成建造物以外の建築物	歴史的風致の維持及び向上のために行う外観の修景に要する経費	検討中	検討中

美濃市景観形成修理修景補助金の補助率等

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
小倉山城跡・城下町調査研究事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 近世初頭に金森長近が築いた小倉山城跡、城下町及び上有知湊や関連する寺院など総合的に調査研究を行っている、城下町上有知と、その後の商家町として形づくられた過程を把握する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

周知の埋蔵文化財包蔵地「小倉山城跡」内に位置する小倉公園(都市公園)のゆうぎ広場における遊具更新に際し、地下に影響を与える工事実施時に文化財部局の職員が立ち会いを行い、遺構の有無等の確認を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



周知の埋蔵文化財包蔵地「小倉山城跡」及び「小倉山城城下町」範囲図



小倉公園ゆうぎ広場 工事写真①



小倉公園ゆうぎ広場 工事写真②

評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
美濃和紙の里環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「美濃手すき和紙の家 旧古田行三郎」や周辺の手すき和紙関連施設を整備、活用しながら、その魅力を発信することで更なる観光誘客を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「美濃手すき和紙の家 旧古田行三郎」については、蔵生地区を中心に紙すき経験者を中心とした会「漉き娘の会」の会員に建物維持管理を委託するとともに、開館日(3～11月の土・日曜、祝日)には、来訪者への案内ボランティアを実施している。また、併設の紙すき工房については、今年度、1団体に貸し出しを行っている。今後の活用については、検討中である。また、周辺の手すき和紙関連施設の整備、活用についても検討中。 コロナ禍の中、今年度の「美濃和紙の日」に関連したウォーキングは中止となったが、11月27日の「美濃和紙の日」を広くPRするため、美濃和紙の里会館周辺に「のぼり」を立てたり、和紙糸が入ったハンカチを美濃和紙の里会館の入場券を払った来館者に配布した。(美濃和紙の里会館紙漉き体験30万人イベントと共催)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「漉き娘の会」会員の高齢化及び会員数の減少 旧古田行三郎の活用方法の検討、周辺の手すき和紙関連施設の整備、活用の検討、案内看板の検討、コロナ禍における更なる観光誘客、魅力の発信		
状況を示す写真や資料等			
○美濃和紙の里会館を拠点とした紙屋、川屋の散策ルート整備		○美濃手すき和紙の家 旧古田行三郎	
			
○11月27日「美濃和紙の日」のPR			
			

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
本美濃紙保存・活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

計画に記載している内容 重要無形文化財「本美濃紙」の技術を保存継承するため行う研修生の育成、今後の職人発掘のために行う実演などの啓発活動に助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本美濃紙保存会が重要無形文化財「本美濃紙」の技術継承のために技術研修会を実施した。全工程にわたる10回の研修会には9名が参加した。参加者は将来本美濃紙保存会正会員を目指す者で、いずれも美濃手すき和紙協同組合に加入する職人かその従業者である。普及啓発事業として原料産地茨城県大子町への和紙里帰り企画を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	用具・原料の保存伝承とともに、関係団体との連携に取り組む必要がある。

状況を示す写真や資料等



8/17～26 技術研修会 水晒し



8/17～26 技術研修会 ちりとり



8/17～26 技術研修会 紙打ち



8/17～26 技術研修会 紙すき

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況
美濃手すき和紙推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 伝統的工芸品産業支援補助金

計画に記載している内容 伝統工芸品美濃手すき和紙の振興のため、後継者育成を支援する。また、原料供給安定のため楮栽培事業を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1名を美濃手すき和紙後継者育成奨励金の受給対象者とした。新型コロナウイルス感染症の影響で伝統的工芸品産業支援補助金による展示会事業は中止となった。こうぞ栽培事業の支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

伝統的工芸品産業支援補助金による事業は県との連携を強くして行う必要がある。

状況を示す写真や資料等

○美濃手すき和紙後継者育成奨励金事
(令和3年度1名対象)



○こうぞ生産組合 穴洞支部の様子
現在皮むきまで



○こうぞ生産組合活動



○こうぞの生産状況
美濃市こうぞ生産組合

		令和2年度	令和3年度	前年比(%)	
穴洞支部	会員数	27名	25名	92.6	
	作付面積	53 a	53 a	100.0	
	生産量	白皮	47.63kg	101.25kg	212.6
		黒皮	0.00kg	183.75kg	-
赤すじ		0.00kg	8.63kg	-	
蕨生支部	会員数	8名	8名	100.0	
	作付面積	43 a	43 a	100.0	
	生産量	白皮	114.90kg	33.75kg	29.4
		黒皮	151.69kg	-	-
赤すじ		15.00kg	-	-	

○活動補助金交付金
〈穴洞支部〉700千円
〈蕨生支部〉700千円



評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
美濃和紙の里会館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	美濃和紙の里会館の常設展示の拡充と、売店機能の強化とPRを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年12月17日から令和4年1月17日まで企画展として「美濃手すき和紙を捧ぐ ～TOKYO2020の賞状～」を開催し、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」で入賞アスリートに手渡された美濃手すき和紙の使われた表彰状の展示を行った。岐阜県、美濃市、美濃和紙ブランド協同組合との協議を行い、ブランド商品のPRと、和紙の里会館のPRを兼ねて今後の会館売店の活用を進めていくことで合意した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	美濃和紙ブランド協同組合のブランド商品販売計画が進んでおり、売店店舗拡大で対応する。		
状況を示す写真や資料等			
			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 売店の現況 今後「Mブランド」用に陳列棚増設を行う。 </div>			
			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」で使用された表彰状 </div>			

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
祭礼用具等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	県文化財保護事業費補助金、市文化財保護費補助金		
計画に記載している内容	祭礼に用いられる山車や山車蔵、用具類や用具等収蔵庫の修理修復に対する費用助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
岐阜県重要有形民俗文化財「祭礼山車」のうち、布袋車の山車蔵について、所有者が実施する修理事業に対し費用の一部を助成することで、歴史的風致の向上に寄与することができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
  			
布袋車 山車蔵(修理前)		布袋車 山車蔵(修理後)	

評価軸③-10 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
地域の祭礼等伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和12年度		
支援事業名	市文化財保護費補助金		
計画に記載している内容	地域で行われている祭礼や伝統行事等の調査研究や記録保存を行うほか、その保持団体が行う活動に対して支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルス感染症の拡大により、専門委員会等が開催できない状況が続いた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
ふるさと学習普及推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「ふるさと美濃」を知る機会として、各種啓発事業を展開することで、地域における歴史的風致の担い手である地域住民の歴史文化に関する見識を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

毎月1日に発行される「広報みの」に「先人からの便り」を掲載し、美濃市の歴史や関連する人物について紹介することで、「ふるさと美濃」の周知を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

記載号	記載内容
令和3年 4月号	激動のまちづくり 明治から大正・昭和へ 其ノ一序
令和3年 5月号	地租改正の大事業
令和3年 6月号	立花湊について
令和3年 7月号	激動のまちづくり 明治から大正・昭和へ 其ノ二
令和3年 8月号	洲原村にみる「引揚げ」
令和3年 9月号	美濃紙を伝えた人たち
令和3年 10月号	上河和沙羅早松神社
令和3年 11月号	激動のまちづくり 明治から大正・昭和へ 其ノ三 「美しき町並みの原風景」
令和3年 12月号	美濃町から広がる燃料の供給網
令和4年 1月号	長良川における友釣りの始
令和4年 2月号	安毛村と曾代村間の渡船について
令和4年 3月号	激動のまちづくり 明治から大正・昭和へ 「食文化がまちを強くする」

令和3年度 広報みの「先人からの便り」掲載一覧



広報みの 表紙



先人からの便り 掲載状況

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の調査、指定について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

文化財の調査研究や、関連法規などに基づいて文化財の保存活用に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市が収集し、調査研究を実施した「民具」について、美濃市文化財保護審議会への諮問と答申を受けて、市指定有形民俗文化財に指定。
 ※ 令和4年3月2日開催の美濃市文化財保護審議会において諮問、審議。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



指定文化財(民具)の写真



指定文化財(民具)の写真

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
美濃市文化財保存活用地域計画の作成について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 「美濃市文化財保存活用地域計画」を作成し、指定、未指定を問わず文化財とそれを取り巻く環境、景観や人々の活動などを総体としてとらえて新たな価値を加え、未来につないでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年7月16日に「美濃市文化財保存活用地域計画」が文化庁長官より認定を受け、令和12年度まで今後10年間における事業に取り組むこととした。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後10年間(～令和12年度)における実施事業と「美濃市歴史的風致維持向上計画(第2期)」との整合性

状況を示す写真や資料等



美濃市文化財保存活用地域計画 表紙

課題	方針	措置
調査研究の現状と課題 ①和紙生産用具・製紙技術に関する調査研究が進んでいない ②指定等文化財の詳細調査を地域住民等にもと進める必要がある ③未指定文化財が把握できていない ④神社や信仰の起り所となる神社の棟札や寺元の由来等が書かれた古文書など、社寺の由来に関する調査研究が進んでいない	I 美濃市の魅力の把握と継承	③ 個別の文化財の調査研究 ・和紙生産用具調査研究事業 ・小倉山城跡・城下町調査研究事業 ・丸山古墳跡の発掘調査、調査、整備事業 ・神社見直し事業調査研究事業 ・円空仏の調査研究事業 ・推阿古墳遺跡発掘調査 ・市内遺跡発掘調査事業 ・地域の祭礼等伝承事業 ・美濃産しじわの調査研究事業 ・大矢田のヒシヤの調査研究事業 ・洲原神社の詳細調査 ・フックワツの発掘的モニタリング ・歴史文化資産データベース構築事業 ・ワークショップの開催
保存・活用の現状と課題 (1) 周知、普及啓蒙に係る現状と課題 ①文化財の知名度・認知度に偏りがみられる ②外国人来訪者への周知が不十分 ③未指定文化財の周知が進んでいない ④地域の子どもたちに顕史文化を伝える機会を創出する必要がある (2) 保存に係る現状と課題 ①指定等文化財の定期的な修繕が必要 ②保存、活用の指針である保存活用計画の作成が進んでいない ③文化財の保存・維持管理や伝統技術の担い手不足が加速している ④和紙の原料である楮の生産の担い手不足が深刻 ⑤老朽化した防災設備が未更新 ⑥地域住民が参加する防災訓練が実施できていない ⑦地域住民の防災意識の向上による文化財の保存が必要 (3) 体制に係る現状と課題 ①保存・活用を図るための庁内の連携体制が不十分 ②美濃和紙の委員会等の活用が不十分 ③多岐にわたる事業主体との連携が不十分 ④美濃和紙用具の解説及び体験学習をサポートする人材育成が必要 (4) 活用・整備における現状と課題 ①文化財の魅力を引き立てるための周辺整備が協となる文化財とその周辺に限定されている	II 美濃市の魅力発信 ・白山・高山山岳登山ルート周知活動事業 ・ふるさと学習普及推進事業 ・美濃文化財調査普及事業 ・社会科副読本作成事業	② 周知、普及啓蒙の充実 ・白山・高山山岳登山ルート周知活動事業 ・ふるさと学習普及推進事業 ・美濃文化財調査普及事業 ・社会科副読本作成事業
	III 適切な保存の推進とハード整備	④ 適切な保存の推進と防災設備更新 ・伝統的建造物群保存地区の防災計画策定及び防犯、防災意識啓発活動 ・歴史文化遺産の防災・防犯 ・祭礼用具等修繕事業 ・大衆手漉し紙修繕事業 ・美濃和紙産地活用事業 ・文化財防火デーにおける防災訓練の実施 ・伝統的建造物群保存地区保存修繕事業 ・美濃市歴史資料館修繕事業 ・大矢田神社本殿修繕事業 ・重要文化財防災設備更新事業
	IV 体制整備と多様な主体との連携	⑥ 保存・活用推進のための体制の整備 ・ボランティアアイドルの育成への助成・育成 ・美濃和紙の委員会活用事業
	V 美濃市の魅力の向上と地域の活性化	⑤ 歴史文化の魅力を活用したまちづくり・景観に配慮した整備事業

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 現状変更等を伴う修理や整備などを行う場合には、文化財保護法をはじめ関係法規に基づいた手続きを行うとともに、文化庁や岐阜県文化財担当部局、及び美濃市文化財保護審議会や美濃市伝統的建造物群保存地区保存審議会など学識経験者等の指導と助言を得ながら行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度は県指定文化財保存修理事業は3件(洲原神社本殿・上有知湊・祭礼山車(布袋車)蔵)、伝統的建造物群保存地区保存修理事業は7件を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財を適切に修理し、恒久的に保存することにより、市内の歴史的風致の維持向上が図られる。学識経験者等の指導・助言を得ながら、適切な修理を実施していきたい。

状況を示す写真や資料等



洲原神社本殿(修理前)

洲原神社本殿(修理後)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の防災について		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 有形文化財の所有者等の理解を得ながら防火設備や防犯設備の設置や更新を図る。また、愛護ポスターやチラシ配布などにより所有者、地域住民等の防災意識の高揚を図るとともに、所有者や管理者が消防設備の点検を行うなど適切に保護を図るように努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要文化財小坂家住宅、長蔵寺舍利塔及び須弥壇、大矢田神社本殿・拝殿にて防火設備の点検を実施した。文化財防火デーに合わせ、指定等文化財(真木倉神社、長良川鉄道美濃市駅、洲原神社)の防火点検を実施、市内の文化財の所有者に啓発のチラシを配布した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

引き続き点検を実施し、修理改修が必要な場合は対応する。

状況を示す写真や資料等



小坂家住宅にて実施した防災点検



大矢田神社にて実施した防災点検

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財に対する市民意識の高揚を図るため、誰もが気軽に参加できる展示会や講演会を開催するとともに、必要に応じて文化財愛護団体等が行う普及、啓発活動などへ支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

美濃市文化財を守る会と共催で「県内の史跡を巡る会」「美濃市の歴史・文化財講演会」を実施した。文化財を守る会の会員のみではなく、誰もが参加できる形で開催し、気軽に文化財に触れる機会となった。
 美濃市文化財展を開催し、普段目に触れることが少ない文化財を公開した。また、昨年度実施の修理事業の成果等を展示した。市民の文化財保護への理解を深める良い機会となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

気軽に文化財に触れる機会を作ることで、市民意識の高揚を図ることができる。継続的に実施したい。

状況を示す写真や資料等



県内の史跡を巡る会の様子
(史跡 関ヶ原古戦場)



美濃市の歴史・文化財講演会
(美濃市文化会館)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和3年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
本美濃紙、若手職人研さん 保存会が手すき研修会	令和3年8月24日	岐阜新聞他	
本美濃紙「技をつなぐ」保存会員の家田さん、工房開設	令和3年9月10日	岐阜新聞	
洲原神社、屋根ふき替えと建物調査 中央本殿は1656年建立	令和3年10月5日	岐阜新聞	
コウゾ、丁寧に刈り取り 良質な手すき和紙の原料追及	令和3年11月30日	岐阜新聞	
古民家や空家に68点 美濃でミノマチヤマーケット	令和3年12月4日	中日新聞	
美濃・洲原神社で垢離取祭 心身清め白山大神迎え	令和3年12月6日	中日新聞他	
美濃手すき和紙、入賞者の賞状に 複数の選手提供、市で公開	令和3年12月18日	岐阜新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

長良川鶺鴒の鶺鴒造船に係る見学会の開催

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

長良川で行われる鶺鴒が必要不可欠な存在である鶺鴒船とその造船技術を後世に伝えるため、岐阜長良川鶺鴒保存会が美濃市に所在する岐阜県立森林文化アカデミーで造船や船大工の育成を行っている。
美濃市に伝わってきた船大工の技術を市民に間近に見て感じてもらい、市民に伝統的な技法の保護に係る意識の向上を図るため、令和4年1月に鶺鴒造船の見学会が企画された(新型コロナウイルス感染症拡大により中止)。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



鶺鴒造船・舟大工育成の様子

鶺鴒造船の見学会を開催

- ◆と き/1月22日(土)
午前の部: 10時~12時
午後の部: 1時~3時
- ◆会 場/美濃市管代B8
森林文化アカデミー ウッド・ラボ(木材棟)横の仮設小屋
- ◆内 容/①舟大工による解説(時間内で随時説明)
②造船道具の展示(自由見学)
③釘打ちの実演・体験
全4回実施(午前10時30分、午前11時30分、午後1時30分、午後2時30分)
※釘打ちの実演・体験への参加を希望される方は、軍手の貸し出しを行います。
- ◆申し込み/不要
- ◆参加費/無料
- ◆問い合わせ先/岐阜長良川鶺鴒保存会事務局
(岐阜市でひ魅力づくり推進部文化財保護課)
☎058-214-2365 ファクス(058-263-6631)

鶺鴒(ちぶね)は、川を下りながら流れる長良川の船間にとって、必要不可欠な存在です。
現在、岐阜長良川鶺鴒保存会では、その船間の造船や舟大工の後継者育成に取り組んでおり、この機会に、鶺鴒を語る面白さや舟大工の魅力を伝えようと、実際の作業場での見学会を開催します!

鶺鴒造船見学会開催の広報記事
(新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)

評価軸⑥-1 その他(効果等)		評価対象年度	令和3年度
項目			
ミノマチヤマーケットの開催			
計画に記載している内容			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
<p>令和3年12月3日～5日まで、うだつの上がる町並み(重要伝統的建造物群保存地区)において、みのまちや株式会社が主催し、美濃市が後援する第二回「ミノマチヤマーケット」が開催された。このイベントは平成31年度に開催された同イベントの第二回である。歴史まちづくり事業において整備を行った「旧松久邸」(現NIPPONIA 美濃商家町 YAMAJOU棟)を総合案内として利用し、市内外から観光客が訪れ、美濃市の歴史的な町並みの魅力を発信することができた。(来場者:約3,000人)</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
			
リーフレット 表		リーフレット 裏	
			
当日・写真①		当日・写真②	

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 第18回美濃市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: 令和4年2月(書面による開催)	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 祭礼山車の修理が進んだので、通りに面した蔵を開放して皆さんに見ていただける日を年に数回作って良いのではないかと(イベントに合わせて)。 ○ 美濃和紙の里会館から美濃手すき和紙の家旧古田行三郎付近を歩いて散策できる動線があってもいいように思う(体験や見学)。 ○ 今年も美濃和紙の研修を行った。新型コロナウイルスの影響で、いろいろと内容の変更を余儀なくされたが、より良い紙になるよう切磋琢磨しながらいい研修会になった。また、啓発事業として原料産地大子町で本美濃紙の展示販売を行った。 ○ 美濃手漉き和紙推進事業では、良質な楮が安定供給できるよう、こうぞ生産組合の方に栽培してもらっている。 組合員の高齢化などで生産量の減少が問題だが、株の植え替えなど栽培工夫して良質な楮になっていると思う。 ○ 美濃和紙の里会館活用事業では、オリパラの賞状の展示会があった。 1年遅れのオリンピック、無事開催され世界の選手のみなさんに手漉き和紙の賞状が手渡され、本当に良かったと思うし、選手のみなさんの実際にもらった賞状を見ることができ感激だった。 ○ 景観形成修理修景補助金の補助率等について、検討を重ねていく必要がある。 ○ 指定文化財建造物修理事業、伝健地区保存事業については、専門的知識や技術が不可欠であり、市の担当部門に専門職員を配置するか、信頼できる外部専門家に委託すべき。 ○ 美濃和紙の里会館活用事業について、今年度は売店の活用を進めていくことで合意したとのことであるが、次年度以降は今年度からの売店の売り上げ実績を経年で入れてほしい。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的な建造物の整備事業のほか、美濃市全体の歴史文化について啓発する事業の「ふるさと学習普及推進事業」を実施し、地域住民の歴史文化に関する見識を深め、地域住民と一体となった歴史まちづくりを目指す。 ○ 歴史的建造物の整備のみでなく、その歴史的価値を広報するソフト事業や、整備した歴史的建造物同士をつなぐ道路整備等を行い、市内全体を面として整備していくことを推進していく。 ○ 景観形成修理修景補助金の補助率等については、今後、委員の意見等も踏まえ、庁内で検討を進めていく。 ○ 指定文化財建造物修理事業、伝統地区保存事業については、専門職員の配置及び外部専門家等の委託等も検討していく。 ○ 美濃和紙の里会館活用事業については、次年度以降、経年の売り上げ実績を記載する。 	